

平成29年度 指定管理者施設管理評価シート

部課名	福祉部	高齢福祉課
施設名称	[24] 東京都台東区立みのわ高齢者在宅サービスセンター	
指定管理者	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定期間
	H27. 4. 1	～ H32. 3. 31

1. 施設および事業の概要

(1)	[設置目的] 要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
(2)	[所在地] 台東区三ノ輪1-27-11 [規模] 延べ床面積 9,617㎡のうち1,865.45㎡ 三ノ輪福祉センター内、鉄骨鉄筋コンクリート造地上9階地下2階のうち3・4階の一部、デイホーム、認知症デイホーム、機械浴室など
(3)	[委託事業] ①通所介護・認知症対応型通所介護（送迎・入浴・食事・機能訓練・生活相談等）②介護予防通所・介護予防認知症対応型通所介護（送迎・入浴・食事・生活相談等）（定員 一般型デイサービス：45名、認知症対応型デイサービス：12名） [自主事業] 自主事業は行っていない
(4)	[利用者] 要支援・要介護と認定された高齢者 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他（ ）
(5)	[開館日・時間] 月曜日から土曜日（年始1月1日～2日を除く）8時30分～17時15分
(6)	[人員体制] 23名（内訳）事務員（1）、相談員（3）、介護職員（常勤5、非常勤10）、看護職員（常勤3、非常勤1）

2. 予算決算		27予算	27決算	28予算	28決算
収入	委託料（指定管理料）	15,929,000	15,929,000	32,255,000	32,255,000
	利用料金収入	136,121,000	122,388,088	149,795,000	143,313,891
	その他収入（利用者等外給食費収入）	289,000	0	6,733,000	6,910,150
	計	152,339,000	138,317,088	188,783,000	182,479,041
支出	人件費	91,614,000	96,654,976	119,010,000	126,497,964
	光熱水費	10,849,000	9,639,784	11,677,000	9,017,102
	維持管理費（委託料・賃借料）	31,882,000	26,274,190	34,428,000	26,372,304
	修繕費	1,027,000	514,642	1,575,000	630,318
	事業費	0	0	0	0
	その他支出	16,967,000	13,517,808	22,093,000	39,944,259
	計	152,339,000	146,601,400	188,783,000	202,461,947
収支			-8,284,312		-19,982,906

3. 活動指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
定員（一般型デイサービス）	人	45	45	45	50
定員（認知症対応型デイサービス）	人	12	12	12	12

4. 成果指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
利用率（一般型デイサービス）	%	80	80.6	76.5	77.8
利用率（認知症対応型デイサービス）	%	82	71.1	70.3	81.4

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

特養谷中の大規模改修に伴い、やなかデイ利用者の受入れを行い、またホームページ等の広報活動を継続的に行う等の取組の結果、一般デイ、認知デイ共に利用率が増となった。

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	法令遵守、収支報告書の提出等、良好な管理運営がなされている。また施設内係長会においての決定事項を「通所介護常勤会議」で職員に周知し、メールの活用により会議に参加していない職員にも周知徹底を図る等、適正な管理体制が整っている。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	現在のサービスの水準を維持しつつ、ホームページの見せ方を工夫する等、利用率の向上に努めてきた。また、送迎サービスについても、利用者の安全と負担軽減を第一に考え玄関内での送迎を実施する等、サービス向上に継続して取り組んでいる。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
17 / 20 点	複合施設として、設備の定期保守や清掃等は、一括契約で、適切に行われている。ただし、建物全体が老朽化しているため、突発的な故障にも即時に対応できるよう、日頃より危機管理体制を整えておく必要がある。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	満足度調査の結果、要望のあった事項については、可能な限り迅速に対応している。「全体的に見てご利用のサービスに満足しているか」との問いには、80%以上の利用者が、「満足」または「大変満足」と回答している。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	利用人数の増等の理由により、みのわ高齢者在宅サービスセンター内部収支は前年度から改善しているが、収支が赤字になっている。これは本部会計繰入によるマイナスであり、事業活動による収支は適切に執行されている。

(6) 優れた取組み 《加点項目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
5 点	地域の高齢者向けに、特養等の利用者と同じ食事を提供する来食サービス「いきいきランチ」を開始した。本事業は、「食」を通して地域の高齢者と交流を深める等の取り組みを行い、高齢者福祉実践・研究大会で大会実行委員長賞を受賞するなど、高い評価を得ており、利用者も増えてきている。

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
極めて良好 (101 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>来食サービスでは、「食」を通して地域の高齢者と交流を深める等、地域に貢献した取り組みを行い、高齢者福祉実践・研究大会で大会実行委員長賞を受賞するなど、高い評価を得た。また、全体的な利用サービスについても、施設の満足度調査において高い満足度を保っており、良好な管理運営がなされている。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物保守委託業者との綿密な連絡体制をとり、必要な適宜の修繕等を行いながら、経費適正な収支計画に基づく、より一層の収支の改善が必要である。